

国際会長主題	「フェロシップとインパクトで次の100年へ」	Samuel Chacko (インド)
アジア太平洋地域会長主題	「新しい時代とともに、エレガントに変化を」	Chen Ming Chen (台湾)
東日本区理事主題	「未来に向けて今すぐ行動しよう」	佐藤重良 (甲府21)
東新部部長主題	「All 東新部、始動! Change! 2022ラストスパート、ポスト2022始動」	深尾香子 (東京多摩みなみ)
クラブ会長主題	「心を尽くしてYMCAのために」	小川圭一 (東京世田谷)

会長 小川 圭一  
副会長  
書記

## 2022年10月会報

会計 小原 武夫  
直前会長 峰 毅  
担当主事 江尻 明子

強調テーマ

\* A S F \*

Alexander Scholarship Fund

### ↑今月の聖句

『主は憐れみ深く、恵みに富み  
忍耐強く、慈しみは大きい。』

The Lord is merciful and loving,  
slow to become angry and full  
of constant love.

旧約聖書 詩編 103章8節  
(寺門 選)

- |   |              |
|---|--------------|
| 司会  | 峰 毅 君        |
| 1. 開会点鐘   | 小川 圭一 会長     |
| 2. ワイズソングと信条  | 一 同          |
| 3. ゲストとビジター紹介   | 小川 圭一 会長     |
| 4. 今月の聖句朗読  | 寺門 文雄 君      |
| 5. 全国リーダー研修会・熊本YMCA阿蘇キャンプ<br>ユースボランティア・リーダーズフォーラム<br>それぞれ参加リーダーより 報告をいただく |              |
| 6. ハッピーバースデー 10月1日  | 川嶋良子さん       |
| 17日   | 峰 毅君         |
| 28日   | 岩崎弘君         |
| 27日   | 岩崎晴美さん       |
| 30日   | 朝倉正明君        |
| 22日   | 朝倉正子さん       |
| 7. 結婚記念日  | 10月28日 秋田正人君 |
| 8. ニコニコ献金   |              |
| 9. 諸報告  |              |
| 10. 閉会点鐘  | 小川 圭一 会長     |

### ※ 10月例会プログラム

とき 令和4年10月21日(金) 18:30~19:30

ところ 東京YMCA南コミュニティーセンター3F

電話 03-3420-5361

**ハイブリッド開催**

9月のデータ	会員在籍	14名	例会出席者 9/16日(金)	9月のBF他献金	ニコニコファンド 9月 2,500円 年度計 17,840円
	出席率	71%	会員 10名	切手 0g	
	第2例会	(中止)	メネット 0名	現金 0円	
			イキャップ 0名	累計切手 0g	
			ゲスト 2名		
			ビジター(含むzoom) 1名		
			合計 13名		
			すずらん会 (中止)	2021~2022年度	
			ゲスト 名	自主献金については今期に限り	
			スタッフ 名	クラブからの献金とする	
			合計 名		
			新型コロナウイルスの影響で		

## 本日のメインプログラム

全国リーダー研修会 9/23-9/25

熊本 YMCA 阿蘇キャンプ

・萩原すみれ (パオ) ハギワラスミレさん

東日本区ユースボランティア

リーダーズフォーラム 9/30-10/2

東京 YMCA 山中湖センター

・横江翔太 (シドニー) ヨコエショウタさん

・先山智 (ロン) サキヤマサトルさん

・徳永岳大 (がく) トクナガタケヒロさん

参加されたリーダーからの貴重なお話を

朝倉：ワイズに関わる事ができませんでしたが、10月で80歳に。この夏、孫と共に北海道へドライブに。来年から、孫と北海道一周や、アメリカ横断を希望して。

三浦：弘前/青森、5泊6日の旅でリフレッシュを。グリーンケアを学んでいます。恐山へも、日本人の宗教観の原風景を。

ここで、成績発表がありました。何とか！！、ほっとしています。

さて、「三茶でサンタ」も準備に、具体的になったら皆様のご支援も宜しく。

Libyのメンバーにも声掛けを。去年は医療ケアをされている方々も参加できて。

## ※ 9月例会報告

(卓話要旨)



### 小川会長

暑かった夏を総括しメンバーの皆さんのお話を伺いたいと思います。もちろん、私も難病指定の病を得たり、コロナ陽性反応で10日間の自宅療養を経験しての体験談をご報告します。さらに、1月7日の在京ワイズ新年会ホストとして、企画のご相談もあります。

太田：身体を壊し2度ほど入院、目下療養中です。自然とYMCAすずらん会の折の歌が浮かんで、小川さんや礼子さんと共に、南センター、都民教会、三茶でのすずらん会を支援。3.11地震の被災地訪問などを思い出して、歌の力の素晴らしさに感謝です。

小川：音楽療法ですね。ところで、すずらん会20年に対して、世田谷区制90周年にあたり、表彰されることになりました。

渡邊：Zoom参加で申し訳ありません。どこからでも参加できることは素晴らしいです。月に一回でも参加できることには感謝です。ワイズ会員の減少には驚いていますが、ロースターの作成方法を元の形にさせていただくと、会員の動向などが確認しやすいのですが。プランタ講習も楽しんで、去年はいろいろと作物ができました。

### ● グリーンケア

死別を経験しますと、しらずしらずに亡くなった人を思い慕う気持ちを中心に湧き起こる感情・情緒に心が占有されそうな自分に気づきます(喪失に関係するさまざま思い：「喪失」としてまとめます)。また一方では死別という現実に対応して、この窮地をなんとかしようとする努力を試みています(現実に対応しようとする思い：「立ち直りの思い」としてまとめます)。この共存する二つの間で揺れ動き、なんとも不安定な状態となります。同時に身体上にも不愉快な反応・違和感を経験します。これらを「グリーフ」と言います。グリーフの時期には「自分とは何か」「死とは…」「死者とは…」など実存への問いかけをも行っています。

このような状態にある人に、さりげなく寄り添い、援助することを「グリーンケア」と言います。

寺門：15日、YMCA本部で、世田谷クラブホストの在京新年会の相談を。小川さんの車で、暫くぶりの外出、外に出るのはいいですね。内向きにならずに外向きで、リアルに会えることは素晴らしいです。YMCA保育園ねがい植栽のこと、おやごさん、子供さんと交われ、喜ばれて、嬉しいです。コロナ禍、年寄りだからと言わずに応援を。

秋田：世田谷区立希望が丘青少年センター「アップス・縁日」に、三浦さん、峰会長、小原さん、史奈子さんにおいでいただき有難うございます。サンタの件、宇都宮YMCAでもプログラムがあり、交流できればと思います。小原さんとは沖縄つながり、神田会館時代、「民宿チャーチの暑い夜」という公演をシリーズでされていた、渡辺熱さん、ちむどんどんにも出演されていましたが、沖縄つながりの出会いを大切に、ご紹介できればと。

岩崎： 5時に起き、散歩を1時間ほど、8千歩から1万歩を。月2回、習字を習って、自宅での自習はおろそかに、毎日やればうまくなると思いながら。先日、墓参りに修善寺まで。その折、三島にマンゴを栽培している方を訪ね、見学を希望したのですが断られました。企業秘密でしょうか。さて、80歳ということで息子に車の運転を止められ、今日は電車利用です。

山本(liby参加者)： 妙高ファミリーキャンプで朝倉さんにお会いして、懐かしいです。

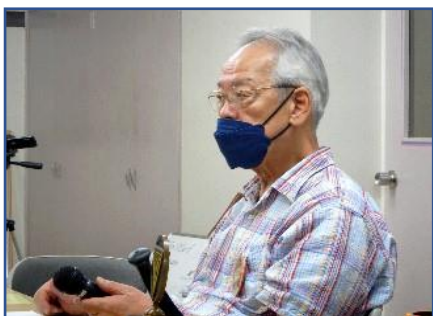
村野： 北軽井沢・(17℃)より新宿・(33℃)に戻りました。北軽では昔の教会の別荘に滞在、毎朝ラジオ体操会場まで歩いて通い、7千歩から1万歩のエクササイズを。昔の大学村は、文化村にと変貌しています。

史奈子： プランタ講習の藤田先生は休講ですが、プランタでは野菜も育ち、美味しく食しています。ブリテンに記載のように、明日17日は「ワールド クリーンアップ デイ」環境問題や、地球規模のごみ対策を。CS/Yサ事業委員としてご案内。

小原： クリーンアップの話から、岩崎さんがいらした、熱海の区大会を思いだして。週末、花火大会が開催され、翌朝に、海岸の清掃活動をワイズの皆さんと行った日。車の免許証返納のこともそろそろかと思いつつ。  
100歳まで元気に過ごせることを願いつつ。

小川： 8月例会は、コロナ感染で自宅からZOOM参加でした。今後の例会についてお話を。10月は、全国リーダー研修会、熊本YMCA阿蘇キャンプ、ユースヴォランティアリーダーズフォーラム、などに参加されたリーダーの方々の卓話。11月は、YMCAで活躍された、大江 浩氏(社会福祉法人興望館、常務理事・こども園園長)に、アフガンの中村哲さんについて語って頂きました。12月は、三茶でサンタなど、クリスマスにちなんで。

1月7日の在京新年会については、ウクライナ支援を軸にYMCA本部の戸坂さんと打ち合わせを行っています。皆様のご協力をお願いいたします。



## 【美しい花々の祝福】

- ① 小さくて人の目には見えないが、故郷の大地に蒔かれ 全てを覆い尽くす雪や霜が降り注ぎ 寒風に晒され乍らも、温かい土の布団の中で、冬の寒さを凌ぎ【春が来たぞー】と幼子らの明るい声にびっくりして目を覚まし、そっと布団の中から顔を出す。
- ② 恐る恐ると、周りを見渡せば 新芽君達は 太陽の光を 眩しそうに 新世界への旅立ちの スタートラインに付こうとしている。  
これから歩もうとする希望と不安が心を駆り立て 乍ら さあ出発だ。  
温かい春の風に誘われて 力強く芽を出す球根君に負けるなど 急いで 大人に成りたいと 今日頑張ろう。仲間と一緒に考えた。

- ② 大人になった僕たちに いよいよ出番が回ってきた。《私が 一番美しい花を咲かせ 芳しい香りを放ちたい》との願いが報われようとしているのだ。蝶々や 蜜蜂達昆虫や 鳥のお世話になり その御恩返しとして 精魂を込めて 綺麗な花を付けよう 香りを放そう そして 次世代の子供達へ『良き地に蒔かれた種』としてお役に立つよう頑張ろうと誓う。喜びに満ちた生涯に感謝  
ハレルヤ ハレルヤー・・・

寺門文雄 作



## ☀ 会長通信 2210

今日は、病状の告白をさせていただきます。

2022年3月に認定された病名は「脊髄小脳変性症(指定難病18)」です。

手足の動きが不自由になり、話す言葉の呂律が回らなくなります。処方される薬は一種類だけですが、病状の進行を抑えるだけで完治はしません。リハビリも進行に負けない体力を維持するものです。難病ですから見つけ難いし、治らないのですからキエルケゴールの死に至る病のようですね。喘息に前立腺肥大、高血圧など基礎疾患もたくさん。

しかし、僕の場合は さにあらず、グリーフ鬱はありま



すが感謝と祈りの日々で時々ボランティアです。思えば、東京YMCAのボランティア of The Yearの盾をクラブで頂戴しましたし、すずらん会と下北沢すずらん会が、ボランティア活動20年ということで、世田谷区から表彰されるという事です。また下北沢の街の写真集に「クリスマスには教会へ！」とアピールしたすずらん会のキャロリング写真が掲載されたのですから。(小川 記)

## ☀ YMCA NEWS

1. 9月3日に「2022 災害スタディ」を東陽町センターで開催し、地域の諸団体や企業、障がいのある方、東京YMCA会員等47名が参加した。福田信章氏(東京災害ボランティアネットワーク事務局長)を講師に迎え、防災街歩きプログラムを通して多様な視点から災害について学んだ。
2. 9月21日、朝日新聞、情報7days ニュースキャスターで、サンデーモーニング等のコメンテーターもつとめている平原依文氏(World Road株式会社共同代表/HI合同会社代表)を講師に、「パーパスから始まるSDGsの自分ごと化」と題して職員向けの研修をオンラインで実施した。約60名が出席し、グループワークも交えながら、YMCAの働きとSDGsについて、学びを深めた。
3. 「第31回インターナショナル・チャリティーラン」は、今年も歩数計アプリを利用したウォーキングイベントとして開催する。10月15日~22日は「らくらくウォーク」(個人参加)、10月22~30日には「チームレース」が行われ、現在46チームが参加予定。期間中の10月22日には都立木場公園内に「フォトスポット」を設け、参加者との交流をはかる。
4. 9月末に3-4年目のリーダーを対象として熊本YMCA阿蘇キャンプにて、1-2年目のリーダーを対象に東京YMCA山中湖センターにて研修会が実施された。どちらも久しぶりの対面となり、基調講演をもとにしてグループごとに熱いディスカッションが繰り広げられ、リーダーについて、YMCAについて考える機会となった。

### 今後の予定

10月28日

「ウクライナ緊急支援チャリティーコンサート」  
会場：日本基督教団霊南坂教会 参加費：無料  
(会場で募金依頼)

出演：飯靖子氏(オルガン)・飯頭氏(ヴィオラ)・  
方波見愛氏(ピアノ)

11月20日 「ソシアス2022」  
オンライン 「沖縄復帰50年と平和について」  
講演：川平朝清氏(元NHKアナウンサー・  
昭和女子大学名誉教授)

11月25日~27日  
「第22回日本YMCA大会」  
会場：日本YMCA同盟東山荘

11月27日  
山手センター70周年記念「リーダー会」  
会場：山手センター

詩人の鈴木志郎安(すずきしろうやす)さんが「放りだされている『老い』」というエッセーの中で、さまざまな高齢者に自らの人生を語ってもらった体験を振り返っている。経営者。農家の主婦、、、。「普通の老人たちなのに、どの人の場合も私は感動しないではいられなかった」と記す。▼同じような感想を高齢者に接する医療関係やボランティアの人々からもしばしば耳にする。「人間というのは、最後には『言葉を語る』というところに行き着く存在なのか」と詩人は感じたようだ。老人とは濃密な情報の集積であり、聞く側が彼らの言葉を価値あるものとして読み解けるかどうか問われていると説く。▼日本は長寿社会となった。それ自体は喜ばしいものの、高齢者一人ひとりに居場所があるかと言えば疑問が残る。幼稚園から会社の定年まで、長く集団に属してきた人間がいきなり個人に戻れるか。大家族に囲まれて過ごす姿も昔のものだ。人とのつながりが少ないと、健康にもマイナスになるとの研究結果もあると聞く。▼詩人で映像作家でもあった鈴木さんの訃報が届いた。享年87。還暦を過ぎてからの作品の一つ「住んでる人しか知らない道」にこんな一節がある。「書かれた言葉が読まれないのは辛い/言葉に、求めに応じることがないからか/言葉に、求めていく心がないからか」。きょうは敬老の日。先達の豊かな言葉に耳を傾けたい。

日経 春秋 2022.9.19より